

生活造形

京都女子大学 生活造形学科

2022 VOL.67



目 次

御退職特集

生活造形学科の発足から 29 年	片 山 勢津子	1
片山勢津子先生のこと	井 上 えり子	2
片山先生のご退職に寄せて	卒業生、在校生	3
充実した 8 年間でした。ありがとうございました。	山 岡 俊 樹	7
山岡先生の足跡と開拓者精神	前 川 正 実	8
山岡先生のご退職に寄せて	卒業生、在校生	9

学科だより

教職員の異動・学生等の受賞報告		12
TES 認定おめでとう	榎 本 雅 穂	16
令和 2 年度博士学位論文要旨		17
令和 2 年度修士学位論文要旨		21
令和 2 年度卒業論文題目		29

ゼミ活動報告

高島屋史料館×京都女子大学 産学連携事業の取り組み	青 木 美保子	33
第 18 回 2021 年度デザイン人間工学報告会の開催	山 岡 俊 樹	34

報 文

サービスデザイン原論	山 岡 俊 樹	35
白瀧幾之助の画業再考—肖像画家としての位置付け—	阿 部 亜 紀	45
遠隔授業に対する学生の意識に関する一考察	荒 木 麻 耶 山 岡 俊 樹	53
医療従事者用 X 線防護衣の現状と課題	熊 田 亜矢子 坂 下 理 穂 諸 岡 晴 美 河 原 伸 雅	58

Relationship between the Active Range of the Shoulder Joint and Necessary Ease for the putting-on motion of a Jacket for Improved Clothing Design	渡 邊 敬 子	66
デジタル測定技術による歴史的建造物の保存活用設計手法の開発研究	北 尾 靖 雅 安 達 基 朗 大 石 佳 知	74

Contents

A service design principle	Toshiki Yamaoka 35
Paintings of Shirataki Ikunosuke Reconsidered: His Position as a Portraitist	Aki Abe 45
A Study on Students Awareness Towards Remote Learning	Maya Araki Toshiki Yamaoka 53
Current State and Issues of Medical X-ray Protective Clothing	Ayako Kumada Riho Sakashita Harumi Morooka Nobumasa Kawahara 58
Relationship between the Active Range of the Shoulder Joint and Necessary Ease for the putting-on motion of a Jacket for Improved Clothing Design	Keiko Watanabe 66
A Study on the Digital Design System for the Historical Buildings Conservation and Utilization by using Digital Measurement Technologies	Yasunori Kitao Yoshitomo Oishi Motoaki Adachi 74

京都女子大学生生活造形学科「生活造形」投稿規定

2012. 7. 18 改定

2020. 1. 7 改定

1. 本誌は主として生活造形に関する総説、解説、文献紹介および報文、ノート、資料などを掲載する。なお原稿の分類は別表の通りとする。
2. 原則として、投稿者は筆頭著者あるいは共著者として生活造形学科専任教員を含むものとする。これ以外の場合は、専任教員の同意に加え、編集委員会の議を経るものとする。
3. 原稿掲載料は原則として無料とする。
4. 原稿の採否、修正、その他は編集委員会が決める。
5. 投稿原稿は、別途定める見本に従って割付けた A4 版カメラレディ原稿とし、Word 形式と PDF 形式の 2 種類のファイルを提出する。本文のフォントは、和文では、明朝体 10.5 ポイント、一行 23 文字× 40 行の横 2 段組みとする。英文では Century 10.5 ポイントを用いる。
6. 報文の頭初には表題、著者名、所属機関を和文および英文で記載する。表題は、和文：明朝体 14 ポイント、英文：Century 11 ポイント、著者名と所属機関は、和文：明朝体 11 ポイント、英文：Century 11 ポイントとする。
7. 報文には、本文が和文の場合は英文要旨を、目的・方法・結果・考察を含めて、本文中の内容を理解できるように平易な文で簡潔に書く。フォントは Century 10.5 ポイントとし、長さは 150 語程度とする。本文が英文の場合は和文要旨を添える。フォントは明朝体 10.5 ポイントとし、長さは 400 文字程度とする。
8. 原稿の記載は次の形式による。
 - (1) 和文原稿では、原則として当用漢字・新かなづかいを用いる。
 - (2) 単位は原則として国際単位 (SI) 系とする (JISZ8203 参照)。
 - (3) 参考文献・引用文献の書き方は下記を参考とする。
 - (和文雑誌) 著者名, 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (発行年)
 - (欧文雑誌) 著者名, 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (発行年)
 - (単行本) 著者名, 書名, 発行元, ページ (発行年)
- 〈例〉
 - 1) 田村奈巳, 酒井哲也, 酒井豊子. 論文タイトル, 家政誌, 50, pp. 331-336 (1995)
 - 2) R. J. Pace, A. Datyner. Title, Text, Res. J.; 50, p. 34 (1980)
 - 3) T. Vickerstaff. "The Physical Chemistry of Dyeing", Oliver & Boyd CO., p. 43 (1954)
 - 4) 江馬務. 「江馬務著作集第六巻」, 中央公論社, 東京, p. 19 (1977)
9. 図表の記載は次の形式による。

各図 (写真も含む)、表には図 4、表 3 のように表記し、簡単な表題をつけること。原稿には、図表の挿入箇所に関する指示を明示すること。
10. 校正は二校までは著者が行う。
11. 別刷は 20 部までは贈呈するので、希望者は二校時までに希望部数を届け出ること。
12. 投稿原稿データは E メール添付あるいは CD などの媒体へ記録し、編集委員へ送付する。

種類	内容	最大頁数
a. 総説	一つの主題についての総合的な論説や記事で、提案、批評などを含むもの	8
b. 解説	研究、技術、社会情勢などに関する平易な解説	8
c. 文献紹介	国内、国外の研究論文、書籍などの紹介	4
d. 博士論文要旨	前年度の博士論文の要旨	6
e. 修士論文要旨	前年度の修士論文の要旨	6
f. その他	教職員の研究活動などに関する報告記事、会社・研究所などの見学記および学会行事などに関する報告など	4
g. 報文	生活造形に関係のある研究で、新しい価値のある結論あるいは事実を含むと認められるもので、本誌に掲載される前に他の学術誌に投稿あるいは掲載されていないものに限る	8
h. ノート	原著論文であるが、論文としては十分な結論を得るに至っていないもの	8
i. 資料	研究の資料として価値あるもので、上記の論文、ノートのいずれにも属さないもの	4

編集委員：青木 美保子・江口 淑子・渡邊 敬子・是永 美樹

表紙デザイン：江口 淑子

編集後記：

「生活造形」67号をお届けいたします。コロナ禍で学生生活、教育、研究に不自由さがあるなかでも、学生の受賞報告が多数寄せられ、また報文についても数多く寄稿していただきました。コロナに負けず、学生と教職員が工夫しながら行った活動の賜物だと思います。最後になりましたが、ご多忙の中ご協力いただきました皆様に厚く感謝いたします。

M.K

京都女子大学生生活造形

令和4年1月20日 印刷

令和4年2月1日 発行

(会員頒布非売品)

編集責任者

青木 美保子

発行所

京都女子大学生生活造形学科

京都市東山区今熊野北日吉町 35

TEL 075-531-7166

印刷所

(株) 北斗プリント社

京都市左京区下鴨高木町 38-2

TEL 075-791-6125

